

金沢発のサイト好評

障害者スポーツ応援!

障害者スポーツを支援する金沢発のインターネット情報サイト「アスリート・ビレッジ」が好評だ。閲覧者たちは「自分たちの記録がきちんと載るとうれしいし、このサイトの存在が励みになる」と話す。運営する特定非営利活動法人（NPO法人）STAND（代表理事・大星公三元NTTドコモ会長）は、障害者スポーツのナンバワンサイトを目指し、一層の内容充実に取り組んでいる。

（報道部・小島哲男）

「アスリート・ビレッジ」



障害者スポーツの情報サイト「アスリート・ビレッジ」の画面

アスリート・ビレッジは、運営に手間が掛かる障害者スポーツを支援する目的で、金沢市の情報技術（IT）会社「パステルラボ」が昨年七月に開設。大会案内や試合結果をはじめ、障害者スポーツを楽しむ人のコラムを載せたり、大会スケジュールの変更を携帯電話のメールで関係者に配信したりしている。昨年十二月、サイトの発展を願い、運営をSTANDに移管した。

開設後、サイトへの訪問者数は昨年八月が七千三百、九月は七千、十月は九千九百と順調に増加。十一月は屋外スポーツが減った分、五千二百に減ったが、ヤフーやグーグルなどの検索エンジンで「アスリート・ビレッジ」と打ち込めば、常に二番

大会記録掲載「励みに」

目程度に表示されるまでに認知度が上がってきた。

同サイトの開設に当たっては金沢市も約一千万円を助成。携帯電話へのメール配信などに必要な登録利用料は、ことし七月までは無料。サイトの充実に向けて、試合映像をテレビ電話機能付きの携帯電話を使ってインターネット配信するモバイル中継のサービスも実施。十二日に東京都調布市で開かれた視覚障害者サッカー選手権大会もモバイル中継した。

STANDの伊藤数子副代表理事（金沢市）は「内容をより充実させてアクセスを増やし、ヤフーなどに情報を購入してもらったことで、できれば八月以降も利用料を無料にしていきたい」と展望している。